

東京都クラブ選手権大会・参加上の諸注意

22年前東京都クラブ連盟の手によってスタートした「東京都クラブ選手権大会」は、当初から大会運営の全てを参加チーム自らが応分に担う自律した大会として発展してきました。クラブ大会は、クラブチームに集うラグーマンが自らを律する「仲間立(なかもりつ)※」による大会です。お互いが気持ちよくラグビーをやるための「紳士協定」として、大会要項はじめ各種の決め事、諸規約を理解し、大会を自らの手で有意義なものとしてゆきましょう。

※ 仲間立(なかもりつ) = 国立、私立、組合立……等の「立」で、仲間が協同して作り上げるという意味の「仲間立」

大会実施規約

1. 試合時間

試合時間は、チャレンジマッチ及び1～3部ブロックは40分ハーフとする。4部は35分ハーフとするが、準決勝以上の各試合及び入替戦は40分ハーフとする。但し、グラウンドの都合により試合時間を変更する場合がある。

2. 勝敗、順位の設定

- (1) 規定時間内に勝敗が決まらない場合には、以下の基準で次回出場権を決する。
 - ① トライ数の多いチーム。
 - ② トライ数が同じ場合には、トライ後のゴール数の多いチーム。
 - ③ 上記の方法で決することが出来ない場合には抽選で決める。
- (2) 1～2部リーグ戦の順位は、勝ち点制を採用する。全試合終了時点で、勝ち点の多い順に順位を決定する。(トップリーグ方式)
 - ① 各試合の勝ち点は、勝ち4点、引き分け2点、負け0点とする。
 - ② また、ボーナス点として以下の勝ち点を与える。
 - a. 負けても7点差以内ならば、勝ち点1を追加
 - b. 勝敗に関係なく、4トライ以上獲得したチームに、勝ち点1を追加
 - ③ 全試合終了時点での勝ち点が同じ場合、次の各号の順序により順位を決定する。
 - a. 当該チーム同士の試合で、勝ち点が多いチームを上位とする。
 - b. 3チーム以上が同じ勝ち点で並び、③のaの順位で決められない場合、次のc以下の決定順序により順位を決定し、その中の1チームの順位が確定した時点で③のaに戻って他チームの順位を決定する。
 - c. リーグ戦全試合のトライ数が多いチームを上位とする。
 - d. リーグ戦全試合のトライ後のゴール数が多いチームを上位とする。
 - e. 当該チームで抽選を実施。
- (3) 規約に定めのない事項については、大会実行委員会が裁定する。

3. 試合毎に必要な選手以外のスタッフ

- (1) 大会運営及び試合進行を円滑に進めるため、参加各チームは、選手以外に必要なスタッフを、試合毎に下記の通り選出しなければならない。

① チーム競技委員 (必須)	1名
② 交替指示者 (チーム競技委員と兼務可能)	1名
③ メディカル・サポーター (必須)	1名 (有資格者)
④ タッチジャッジ (必須)	1名 (公認レフリーないしタッチジャッジ講習会受講者)
⑤ ボール係 (必須)	3名
⑥ 水係 (任意)	3名以内
⑦ 記録係 (必須)	1名
- (2) 上記スタッフは、選手(リザーブ含む)との兼任は出来ない。また、スタッフ間の兼任も出来ない。
- (3) 上記スタッフは、レンタル等の手段により自チーム以外の者を選出することができる。但し、チームはその行動のすべてについて責任を負うものとする。

競技に関する諸注意事項 ＝事前、試合当日、試合後の諸ルール＝

1. 選手登録の方法

- (1) この大会の選手登録人数は、2006年4月5日までに日本協会へ競技者個人登録を完了した者の中から40名以内とする。
- (2) 大会期間中、40名の選手登録を変更、追加、入替えすることは出来ない。申込時点で登録した選手のみに出場資格がある。
- (3) 個人登録番号は、競技者個人登録の手続きをする際に各チームが付番した番号である。協会から通知されるものではないので十分注意すること。
- (4) 試合ごとの登録選手は22名以内とする。試合会場到着時に大会本部受付へ「メンバー表」を提出する。

2. 選手の交替、入替え(競技規則第3条等参照)

- (1) 選手の交替、入替えは、「競技規則」の定めるところによる。(以下略説)
- (2) チームが19～22名の選手を指名する場合には、少なくとも5人はフロントローとしてプレーできる選手でなくてはならない。
- (3) チームが16～18名の選手を指名する場合には、少なくとも4人はフロントローとしてプレーできる者でなくてはならない。